

平成29年11月7日（火）

第19回図書館総合展

トークイベント「災害アーカイブ構築のノウハウ」事例報告

会場：パシフィコ横浜（神奈川県）

災害アーカイブの 継承について

宮城県図書館 資料奉仕部 震災文庫整備チーム

太田 朋子

1 宮城県図書館の震災アーカイブ業務

《沿革》

2011 (H23) .3.11

東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)発生

- H23.11 震災関連資料の収集・保存開始
- H24.2 特別展「絆の証し-東日本大震災文庫展-」
(以降毎年開催)
- H24.4 震災文庫整備チーム設置**
- H24.7 「東日本大震災文庫」開設**
- H25-26年度 「東日本大震災アーカイブ宮城」構築
(総務省「被災地域記録デジタル化推進事業」)
- H27.6.15 「東日本大震災アーカイブ宮城」公開開始**
- H28.2 「東日本大震災関連資料ファイル」公開

1 宮城県図書館の震災アーカイブ活動

東日本大震災文庫

- ・ 図書, 雑誌, 視聴覚資料, 新聞など
- ・ 資料数 **5,706点**
(H29.10.31現在)



東日本大震災関連資料ファイル

- ・ 収集したチラシ・ミニコミ誌等を地域別, サイズ別に整理し, 公開
- ・ 資料数 **3,586点**
(H29.3.31現在)



1 宮城県図書館の震災アーカイブ活動

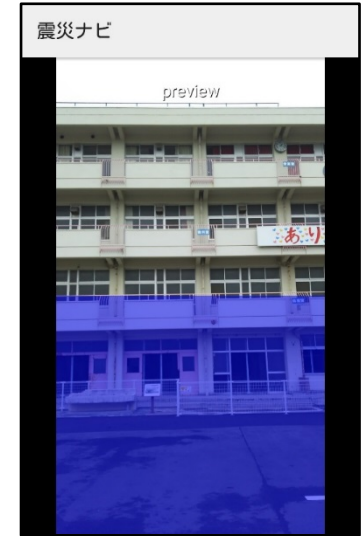
東日本大震災アーカイブ宮城

- ・ 各自治体が管理
- ・ 二次利用を念頭に構築
- ・ コンテンツ数 **222,713点**
(H29.10.31現在)



震災ナビ

- ・ コンテンツナビゲータ
東日本大震災アーカイブ宮城のコンテンツの場所まで道案内
- ・ 津波シミュレーター
VRで津波の高さを表示



2 アーカイブの業務や位置づけの変化

資料の収集・整理・公開

- 資料収集
- 整理方法
- 「東日本大震災文庫」，ファイル公開
- 収集資料の変化

+ デジタルアーカイブの構築・運営

- 県内自治体とアーカイブ構築
- デジタルコンテンツ収集・管理
- システム保守
- 管理運営協議会事務局

+ 利活用の促進

- 収集資料の展示
- 学校や防災関係イベントへ出展
- 二次利用前提
- デジタルコンテンツの利用事例提案

3 アーカイブの継続と業務の継承

- ・ 組織, 人員, 予算の維持
- ・ 広報と利活用

収集資料点数は減っても, 収集と利用は続く

- ・ デジタルアーカイブは構築してから
- ・ 節目節目で記録をまとめる
- ・ ノウハウ, 業務マニュアルを残す
- ・ 思いを引き継ぐ

資料の意味, 業務の意味

御清聴ありがとうございました

宮城県図書館 資料奉仕部 震災文庫整備チーム
太田 朋子